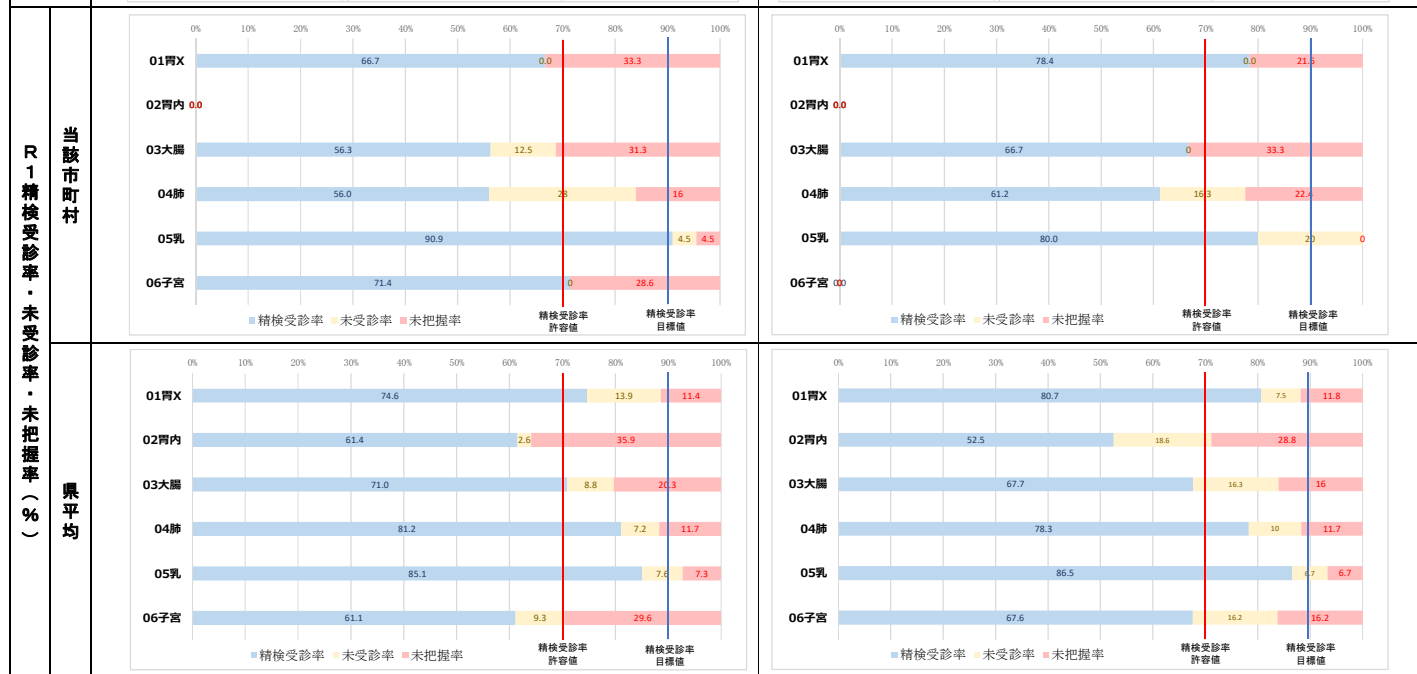
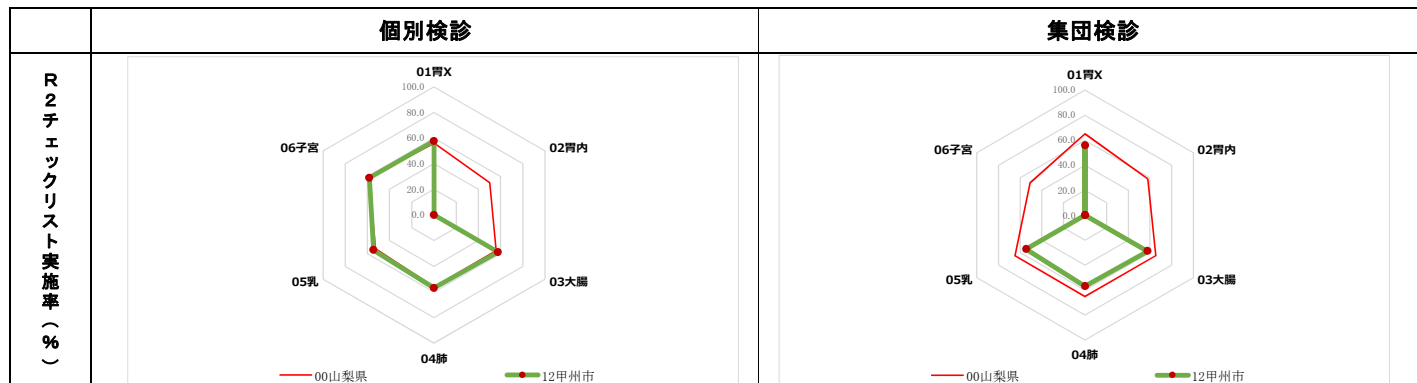


甲州市 における「がん検診の精度管理指標」

R2受診率 (%)		胃 (X+内視鏡)	大腸	肺	乳	子宮
	甲州市	14.9	15.2	18.7	22.1	20.3
	山梨県	10.4	11.8	12.9	23.6	18.8



R1要精検率・がん発見率・陽性反応適中度(個別・集団合計・%)

	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度	受診者	要精検者	精検受診者	がんであった者
01胃X	20.1	0.17	0.8	593	119	93	1
	11	0.10	0.9	17,248	1,898	1,519	18
02胃内	0	0.00	0	0	0	0	0
	2.6	0.05	1.9	8,296	212	125	4
03大腸	3.5	0.10	3	2,868	99	61	3
	6.3	0.14	2.2	64,985	4,095	2,826	91
04肺	2.1	0.11	5.4	3,567	74	44	4
	1.8	0.03	1.6	76,374	1,351	1,069	22
05乳	9.2	0.38	4.1	533	49	44	2
	3.5	0.20	5.8	31,354	1,090	937	63
06子宮	1	0.00	0	712	7	5	0
	1.5	0.01	0.8	34,049	497	306	4

※上段:当該市町村、下段:県全体。 人口規模の小さい市町村においては、県合計との単純比較が難しいことに注意。

注 各プロセス指標については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃:50~69歳、大腸・肺・乳:40~69歳、子宮:20~69歳

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃:50~74歳、大腸・肺・乳:40~74歳、子宮:20~74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がんX線検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因	検討すべき対策	
受診率	甲州市	8.2%	7.7%	9.4%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	甲州市	2.9%	4.8%	10.3%	/	胃 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	4.2%	10.1%	8.8%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	8.1%	7.8%	-						
精検受診率	甲州市	100.0%	50.0%	66.7%	/	胃 : 70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	63.2%	76.9%	74.6%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	75.7%	75.6%	-						
未受診率	甲州市	0.0%	50.0%	0.0%	/	胃 : 20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	14.6%	8.0%	13.9%				低値	-	-
	全 国	7.9%	7.6%	-						
未把握率	甲州市	0.0%	0.0%	33.3%	/	胃 : 10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	22.2%	15.1%	11.4%				低値	-	-
	全 国	16.5%	16.7%	-						
がん発見率	甲州市	0.00%	0.00%	-	/	胃 : 0.11%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.05%	0.04%	0.04%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.12%	0.12%	-						
陽性反応適中度	甲州市	0.0%	0.0%	-	/	胃 : 1.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.1%	0.4%	0.5%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.4%	1.5%	-						

注 許容値を超える場合は赤太字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がんX線検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因	検討すべき対策	
受診率	甲州市	8.2%	7.7%	9.4%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	甲州市	18.8%	26.3%	20.6%	/	胃 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	10.5%	12.5%	11.3%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	7.3%	7.0%	-						
精検受診率	甲州市	79.5%	82.6%	78.4%	/	胃 : 70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	80.4%	84.1%	80.7%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	83.9%	84.4%	-						
未受診率	甲州市	8.2%	0.0%	0.0%	/	胃 : 20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	11.3%	7.2%	7.5%				低値	-	-
	全 国	7.0%	6.7%	-						
未把握率	甲州市	12.3%	17.4%	21.6%	/	胃 : 10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	8.2%	8.7%	11.8%				低値	-	-
	全 国	9.2%	8.9%	-						
がん発見率	甲州市	0.15%	0.35%	0.18%	/	胃 : 0.11%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.08%	0.18%	0.11%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.12%	0.12%	-						
陽性反応適中度	甲州市	0.8%	1.3%	0.9%	/	胃 : 1.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.8%	1.5%	1.0%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.7%	1.8%	-						

注 許容値を超える場合は赤太字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がん内視鏡検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	8.2%	7.7%	9.4%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	甲州市	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	2.4%	1.9%	2.5%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	7.5%	7.6%	-						
精検受診率	甲州市	-	-	-	/	-	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	51.1%	42.2%	61.4%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	92.1%	93.1%	-						
未受診率	甲州市	-	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	5.7%	4.3%	2.6%				低値	-	-
	全国	1.6%	1.4%	-						
未把握率	甲州市	-	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	43.1%	53.4%	35.9%				低値	-	-
	全国	6.3%	5.6%	-						
がん発見率	甲州市	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.04%	0.05%	0.06%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.29%	0.28%	-						
陽性反応適中度	甲州市	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.7%	2.6%	2.6%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	3.8%	3.7%	-						

注 胃がん内視鏡検診における許容値は現時点で作成されていない。

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がん内視鏡検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	8.2%	7.7%	9.4%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	甲州市	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	3.1%	3.6%	2.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	4.9%	4.5%	-						
精検受診率	甲州市	-	-	-	/	-	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	85.7%	48.6%	52.5%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	81.9%	81.9%	-						
未受診率	甲州市	-	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	7.1%	21.4%	18.6%				低値	-	-
	全国	13.3%	7.4%	-						
未把握率	甲州市	-	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	7.1%	30.0%	28.8%				低値	-	-
	全国	4.8%	10.7%	-						
がん発見率	甲州市	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.22%	0.31%	-				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.15%	0.21%	-						
陽性反応適中度	甲州市	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	7.1%	8.6%	-				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	3.1%	4.7%	-						

注 胃がん内視鏡検診における許容値は現時点で作成されていない。

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（大腸がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	17.1%	16.2%	16.4%	15.2%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	15.3%	14.6%	14.3%	11.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	8.4%	8.1%	7.7%	-					
要精検率	甲州市	-	6.3%	4.0%	/	大腸：7.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	7.2%	6.8%	7.1%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	6.9%	6.7%	-						
精検受診率	甲州市	-	63.2%	56.3%	/	大腸：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	61.7%	68.0%	71.0%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	67.2%	68.3%	-						
未受診率	甲州市	-	5.3%	12.5%	/	大腸：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	13.7%	11.2%	8.8%				低値	-	-
	全国	12.6%	12.5%	-						
未把握率	甲州市	-	31.6%	31.3%	/	大腸：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	24.6%	20.8%	20.3%				低値	-	-
	全国	20.1%	19.2%	-						
がん発見率	甲州市	-	0.17%	0.17%	/	大腸：0.13%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.11%	0.09%	0.14%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.22%	0.22%	-						
陽性反応適中度	甲州市	-	2.6%	4.2%	/	大腸：1.9%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.6%	1.4%	1.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	3.1%	3.3%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（大腸がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	17.1%	16.2%	16.4%	15.2%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	15.3%	14.6%	14.3%	11.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	8.4%	8.1%	7.7%	-					
要精検率	甲州市	5.9%	3.7%	3.0%	/	大腸：7.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	6.3%	5.5%	5.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	5.9%	5.6%	-						
精検受診率	甲州市	76.0%	69.5%	66.7%	/	大腸：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	70.4%	69.4%	67.7%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	75.5%	75.8%	-						
未受診率	甲州市	11.5%	1.7%	0.0%	/	大腸：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	16.8%	16.3%	16.3%				低値	-	-
	全国	12.0%	12.0%	-						
未把握率	甲州市	12.5%	28.8%	33.3%	/	大腸：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	12.8%	14.3%	16.0%				低値	-	-
	全国	12.5%	12.2%	-						
がん発見率	甲州市	0.11%	0.00%	0.06%	/	大腸：0.13%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.15%	0.13%	0.14%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.17%	0.16%	-						
陽性反応適中度	甲州市	1.9%	0.0%	2.0%	/	大腸：1.9%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	2.4%	2.5%	2.4%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.8%	2.9%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（肺がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	20.2%	20.2%	20.1%	18.7%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	16.8%	16.2%	15.8%	12.9%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	7.4%	7.1%	6.8%	-					
要精検率	甲州市	-	1.7%	2.1%	/	肺：3.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.7%	1.6%	1.7%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.0%	2.2%	-						
精検受診率	甲州市	-	76.2%	56.0%	/	肺：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	79.2%	78.4%	81.2%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	80.0%	80.7%	-						
未受診率	甲州市	-	4.8%	28.0%	/	肺：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	2.9%	2.8%	7.2%				低値	-	-
	全国	5.3%	4.7%	-						
未把握率	甲州市	-	19.0%	16.0%	/	肺：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	18.0%	18.8%	11.7%				低値	-	-
	全国	14.7%	14.6%	-						
がん発見率	甲州市	-	0.08%	-	/	肺：0.03%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.03%	0.03%	0.02%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.04%	0.04%	-						
陽性反応適中度	甲州市	-	4.8%	-	/	肺：1.3%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.8%	1.7%	1.1%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.3%	1.9%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（肺がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	20.2%	20.2%	20.1%	18.7%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	16.8%	16.2%	15.8%	12.9%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	7.4%	7.1%	6.8%	-					
要精検率	甲州市	1.7%	1.7%	2.1%	/	肺：3.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.7%	1.8%	1.8%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	1.6%	1.6%	-						
精検受診率	甲州市	87.5%	75.0%	61.2%	/	肺：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	85.7%	81.2%	78.3%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	86.5%	86.9%	-						
未受診率	甲州市	5.0%	2.5%	16.3%	/	肺：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	10.5%	11.2%	10.0%				低値	-	-
	全国	6.5%	6.5%	-						
未把握率	甲州市	7.5%	22.5%	22.4%	/	肺：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	3.8%	7.6%	11.7%				低値	-	-
	全国	7.0%	6.7%	-						
がん発見率	甲州市	0.04%	0.00%	0.17%	/	肺：0.03%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.04%	0.02%	0.03%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.04%	0.04%	-						
陽性反応適中度	甲州市	2.5%	0.0%	8.2%	/	肺：1.3%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	2.4%	1.2%	1.8%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.7%	2.7%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（乳がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	28.1%	32.1%	24.1%	22.1%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	25.5%	25.2%	24.8%	23.6%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	17.4%	17.2%	17.0%	-					
要精検率	甲州市	9.0%	7.5%	9.9%	/	乳：11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	4.6%	3.8%	3.7%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	7.5%	7.4%	-						
精検受診率	甲州市	94.1%	89.3%	90.9%	/	乳：80%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	83.5%	79.8%	85.1%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	86.9%	87.9%	-						
未受診率	甲州市	0.0%	0.0%	4.5%	/	乳：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	6.9%	8.3%	7.6%				低値	-	-
	全国	3.2%	2.9%	-						
未把握率	甲州市	5.9%	10.7%	4.5%	/	乳：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	9.6%	12.0%	7.3%				低値	-	-
	全国	10.0%	9.2%	-						
がん発見率	甲州市	0.27%	0.20%	0.45%	/	乳：0.23%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.16%	0.25%	0.25%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.33%	0.35%	-						
陽性反応適中度	甲州市	2.9%	2.7%	4.5%	/	乳：2.5%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	3.6%	6.6%	6.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	4.3%	4.7%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（乳がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	28.1%	32.1%	24.1%	22.1%	-	全国は 50%以上 山梨県は 60%以上	高値	-	-
	山梨県	25.5%	25.2%	24.8%	23.6%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	17.4%	17.2%	17.0%	-					
要精検率	甲州市	4.4%	5.0%	5.6%	/	乳 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	3.9%	3.6%	3.3%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	4.9%	5.0%	-						
精検受診率	甲州市	97.0%	91.7%	80.0%	/	乳 : 80%以上	全て 90%以上	高値	-	-
	山梨県	85.2%	89.7%	86.5%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	92.1%	91.3%	-						
未受診率	甲州市	3.0%	0.0%	20.0%	/	乳 : 10%以下	全て 5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	10.9%	6.8%	6.7%				低値	-	-
	全国	2.8%	2.9%	-						
未把握率	甲州市	0.0%	16.7%	0.0%	/	乳 : 10%以下	全て 5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	3.9%	3.6%	6.7%				低値	-	-
	全国	5.2%	5.7%	-						
がん発見率	甲州市	0.26%	0.00%	-	/	乳 : 0.23%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.18%	0.21%	0.17%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.27%	0.28%	-						
陽性反応適中度	甲州市	6.1%	0.0%	-	/	乳 : 2.5%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	4.7%	5.7%	5.1%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	5.5%	5.6%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（子宮頸がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	23.0%	28.3%	22.8%	20.3%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	19.9%	19.7%	19.3%	18.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	16.3%	16.0%	15.7%	-					
要精検率	甲州市	1.0%	1.5%	1.0%	/	子宮：1.4%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.4%	1.6%	1.5%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.4%	2.4%	-						
精検受診率	甲州市	88.2%	95.7%	71.4%	/	子宮：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	63.4%	68.7%	61.1%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	73.3%	73.6%	-						
未受診率	甲州市	11.8%	4.3%	0.0%	/	子宮：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	9.2%	11.6%	9.3%				低値	-	-
	全国	7.0%	6.8%	-						
未把握率	甲州市	0.0%	0.0%	28.6%	/	子宮：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	27.4%	19.8%	29.6%				低値	-	-
	全国	19.7%	19.5%	-						
がん発見率	甲州市	0.00%	0.00%	-	/	子宮：0.05%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.02%	0.02%	0.01%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.04%	0.03%	-						
陽性反応適中度	甲州市	0.0%	0.0%	-	/	子宮：4.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.2%	1.1%	0.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	1.5%	1.3%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

甲州市におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（子宮頸がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	甲州市	23.0%	28.3%	22.8%	20.3%	-	全国は 50%以上 山梨県は 60%以上	高値	-	-
	山梨県	19.9%	19.7%	19.3%	18.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	16.3%	16.0%	15.7%	-					
要精検率	甲州市	0.8%	-	-	/	子宮：1.4%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.3%	0.8%	1.1%	/			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.3%	1.4%	-	/					
精検受診率	甲州市	75.0%	-	-	/	子宮：70%以上	全て 90%以上	高値	-	-
	山梨県	71.1%	38.9%	67.6%	/			低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	84.2%	81.1%	-	/					
未受診率	甲州市	0.0%	-	-	/	子宮：20%以下	全て 5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	6.7%	27.8%	16.2%	/			低値	-	-
	全 国	5.2%	5.3%	-	/					
未把握率	甲州市	25.0%	-	-	/	子宮：10%以下	全て 5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	22.2%	33.3%	16.2%	/			低値	-	-
	全 国	10.6%	13.6%	-	/					
がん発見率	甲州市	0.00%	-	-	/	子宮：0.05%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.00%	0.05%	-	/			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.02%	0.02%	-	/					
陽性反応適中度	甲州市	0.0%	-	-	/	子宮：4.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.0%	5.6%	-	/			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.6%	1.5%	-	/					

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

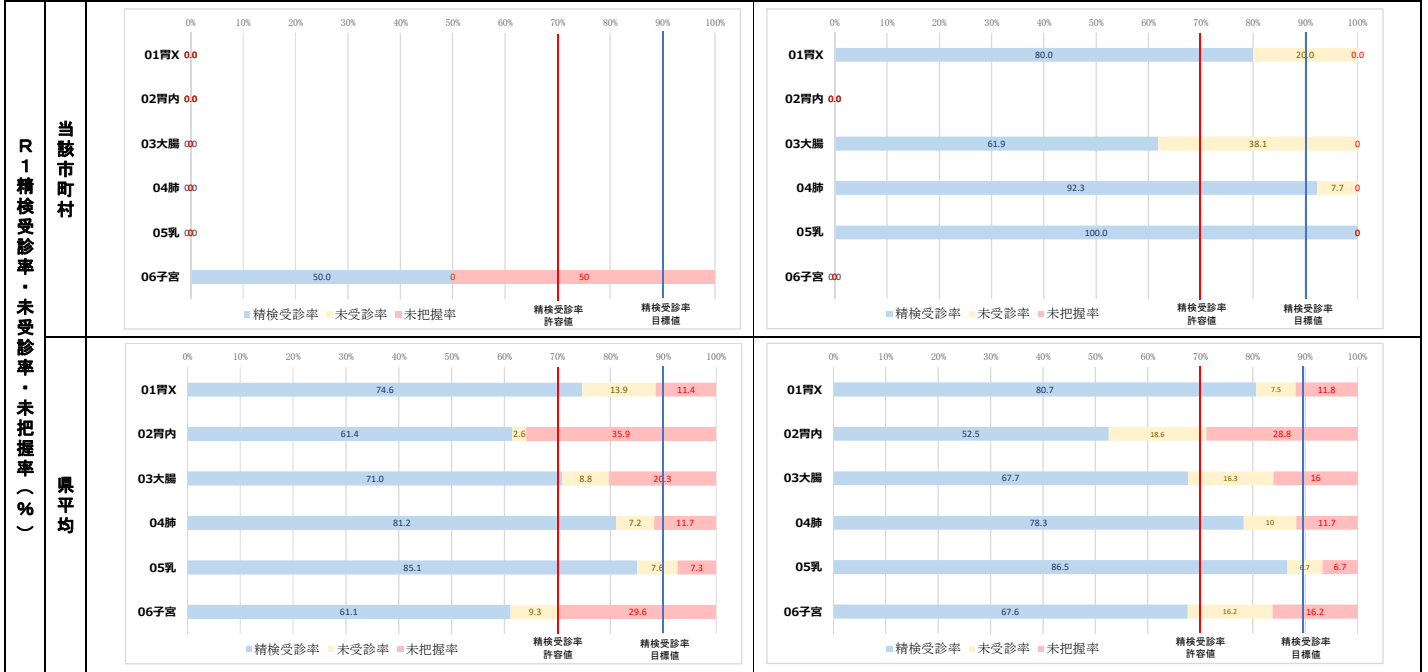
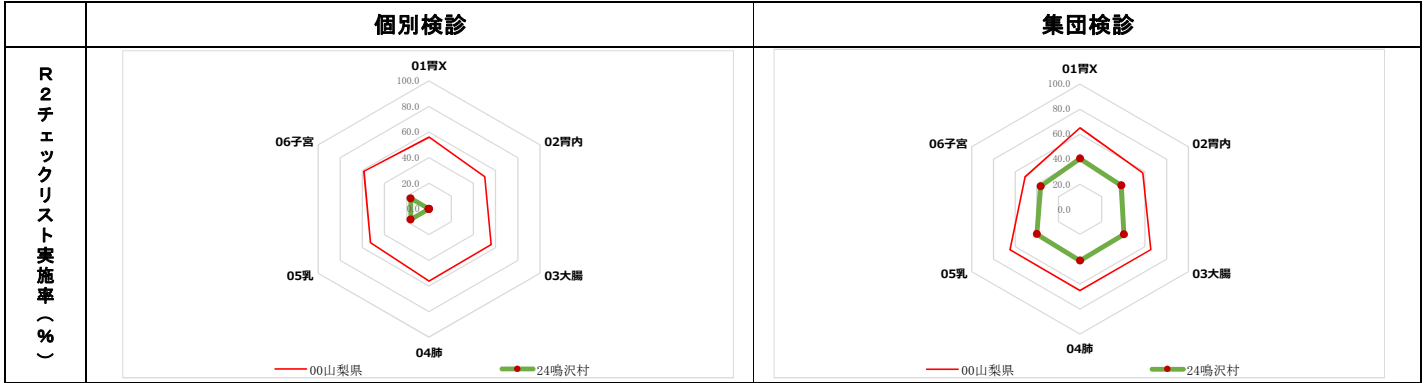
受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村 における「がん検診の精度管理指標」

R2受診率 (%)		胃 (X+内視鏡)	大腸	肺	乳	子宮
	鳴沢村	14.9	10.4	10.4	12.6	11.5
	山梨県	10.4	11.8	12.9	23.6	18.8



R1要精検率・がん発見率・陽性反応適中度(個別・集団合計・%)

	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度	受診者	要精検者	精検受診者	がんであった者
01胃X	14.7	0.00	0.0	68	10	8	0
	11	0.10	0.9	17,248	1,898	1,519	18
02胃内	0	0.00	0	102	0	0	0
	2.6	0.05	1.9	8,296	212	125	4
03大腸	8.9	0.00	0	236	21	13	0
	6.3	0.14	2.2	64,985	4,095	2,826	91
04肺	5.3	0.00	0	245	13	12	0
	1.8	0.03	1.6	76,374	1,351	1,069	22
05乳	2.6	0.00	0	76	2	2	0
	3.5	0.20	5.8	31,354	1,090	937	63
06子宮	6.1	1.01	16.7	99	6	3	1
	1.5	0.01	0.8	34,049	497	306	4

※上段:当該市町村、下段:県全体。 人口規模の小さい市町村においては、県合計との単純比較が難しいことに注意。

注 各プロセス指標については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃:50~69歳、大腸・肺・乳:40~69歳、子宮:20~69歳

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃:50~74歳、大腸・肺・乳:40~74歳、子宮:20~74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がんX線検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因	検討すべき対策	
受診率	鳴沢村	…	16.0%	16.3%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	鳴沢村	-	-	-	/	胃 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	4.2%	10.1%	8.8%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	8.1%	7.8%	-						
精検受診率	鳴沢村	-	-	-	/	胃 : 70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	63.2%	76.9%	74.6%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	75.7%	75.6%	-						
未受診率	鳴沢村	-	-	-	/	胃 : 20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	14.6%	8.0%	13.9%				低値	-	-
	全 国	7.9%	7.6%	-						
未把握率	鳴沢村	-	-	-	/	胃 : 10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	22.2%	15.1%	11.4%				低値	-	-
	全 国	16.5%	16.7%	-						
がん発見率	鳴沢村	-	-	-	/	胃 : 0.11%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.05%	0.04%	0.04%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.12%	0.12%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	-	-	-	/	胃 : 1.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.1%	0.4%	0.5%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.4%	1.5%	-						

注 許容値を超える場合は赤太字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がんX線検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	…	16.0%	16.3%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	鳴沢村	9.7%	5.6%	14.7%	/	胃 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	10.5%	12.5%	11.3%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	7.3%	7.0%	-						
精検受診率	鳴沢村	57.1%	75.0%	80.0%	/	胃 : 70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	80.4%	84.1%	80.7%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	83.9%	84.4%	-						
未受診率	鳴沢村	42.9%	0.0%	20.0%	/	胃 : 20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	11.3%	7.2%	7.5%				低値	-	-
	全 国	7.0%	6.7%	-						
未把握率	鳴沢村	0.0%	25.0%	0.0%	/	胃 : 10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	8.2%	8.7%	11.8%				低値	-	-
	全 国	9.2%	8.9%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.00%	0.00%	-	/	胃 : 0.11%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.08%	0.18%	0.11%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.12%	0.12%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	0.0%	0.0%	-	/	胃 : 1.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.8%	1.5%	1.0%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.7%	1.8%	-						

注 許容値を超える場合は赤太字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がん内視鏡検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	…	16.0%	16.3%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	鳴沢村	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	2.4%	1.9%	2.5%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	7.5%	7.6%	-						
精検受診率	鳴沢村	-	-	-	/	-	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	51.1%	42.2%	61.4%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	92.1%	93.1%	-						
未受診率	鳴沢村	-	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	5.7%	4.3%	2.6%				低値	-	-
	全 国	1.6%	1.4%	-						
未把握率	鳴沢村	-	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	43.1%	53.4%	35.9%				低値	-	-
	全 国	6.3%	5.6%	-						
がん発見率	鳴沢村	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.04%	0.05%	0.06%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.29%	0.28%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	-	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.7%	2.6%	2.6%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	3.8%	3.7%	-						

注 胃がん内視鏡検診における許容値は現時点で作成されていない。

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（胃がん内視鏡検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	...	16.0%	16.3%	14.9%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	13.6%	13.0%	11.4%	10.4%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	8.4%	8.1%	7.8%	-					
要精検率	鳴沢村	1.9%	0.0%	0.0%	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	3.1%	3.6%	2.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	4.9%	4.5%	-						
精検受診率	鳴沢村	100.0%	-	-	/	-	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	85.7%	48.6%	52.5%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	81.9%	81.9%	-						
未受診率	鳴沢村	0.0%	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	7.1%	21.4%	18.6%				低値	-	-
	全国	13.3%	7.4%	-						
未把握率	鳴沢村	0.0%	-	-	/	-	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	7.1%	30.0%	28.8%				低値	-	-
	全国	4.8%	10.7%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.97%	0.00%	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.22%	0.31%	-				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.15%	0.21%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	50.0%	-	-	/	-	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	7.1%	8.6%	-				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	3.1%	4.7%	-						

注 胃がん内視鏡検診における許容値は現時点で作成されていない。

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（大腸がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	23.8%	12.6%	13.0%	10.4%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	15.3%	14.6%	14.3%	11.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	8.4%	8.1%	7.7%	-					
要精検率	鳴沢村	-	-	-	-	大腸：7.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	7.2%	6.8%	7.1%	-			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	6.9%	6.7%	-	-					
精検受診率	鳴沢村	-	-	-	-	大腸：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	61.7%	68.0%	71.0%	-			低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	67.2%	68.3%	-	-					
未受診率	鳴沢村	-	-	-	-	大腸：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	13.7%	11.2%	8.8%	-			低値	-	-
	全国	12.6%	12.5%	-	-					
未把握率	鳴沢村	-	-	-	-	大腸：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	24.6%	20.8%	20.3%	-			低値	-	-
	全国	20.1%	19.2%	-	-					
がん発見率	鳴沢村	-	-	-	-	大腸：0.13%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.11%	0.09%	0.14%	-			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.22%	0.22%	-	-					
陽性反応適中度	鳴沢村	-	-	-	-	大腸：1.9%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.6%	1.4%	1.9%	-			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	3.1%	3.3%	-	-					

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（大腸がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	23.8%	12.6%	13.0%	10.4%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	15.3%	14.6%	14.3%	11.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	8.4%	8.1%	7.7%	-					
要精検率	鳴沢村	10.2%	6.9%	8.9%	/	大腸：7.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	6.3%	5.5%	5.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	5.9%	5.6%	-						
精検受診率	鳴沢村	60.0%	88.2%	61.9%	/	大腸：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	70.4%	69.4%	67.7%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	75.5%	75.8%	-						
未受診率	鳴沢村	40.0%	11.8%	38.1%	/	大腸：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	16.8%	16.3%	16.3%				低値	-	-
	全 国	12.0%	12.0%	-						
未把握率	鳴沢村	0.0%	0.0%	0.0%	/	大腸：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	12.8%	14.3%	16.0%				低値	-	-
	全 国	12.5%	12.2%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.41%	0.41%	-	/	大腸：0.13%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.15%	0.13%	0.14%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.17%	0.16%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	4.0%	5.9%	-	/	大腸：1.9%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	2.4%	2.5%	2.4%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	2.8%	2.9%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（肺がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	24.1%	12.4%	12.7%	10.4%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	16.8%	16.2%	15.8%	12.9%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	7.4%	7.1%	6.8%	-					
要精検率	鳴沢村	-	-	-	-	肺：3.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.7%	1.6%	1.7%	-			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.0%	2.2%	-	-					
精検受診率	鳴沢村	-	-	-	-	肺：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	79.2%	78.4%	81.2%	-			低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	80.0%	80.7%	-	-					
未受診率	鳴沢村	-	-	-	-	肺：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	2.9%	2.8%	7.2%	-			低値	-	-
	全国	5.3%	4.7%	-	-					
未把握率	鳴沢村	-	-	-	-	肺：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	18.0%	18.8%	11.7%	-			低値	-	-
	全国	14.7%	14.6%	-	-					
がん発見率	鳴沢村	-	-	-	-	肺：0.03%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.03%	0.03%	0.02%	-			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.04%	0.04%	-	-					
陽性反応適中度	鳴沢村	-	-	-	-	肺：1.3%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.8%	1.7%	1.1%	-			低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.3%	1.9%	-	-					

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（肺がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	24.1%	12.4%	12.7%	10.4%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	16.8%	16.2%	15.8%	12.9%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全国	7.4%	7.1%	6.8%	-					
要精検率	鳴沢村	4.0%	4.4%	5.3%	/	肺：3.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.7%	1.8%	1.8%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	1.6%	1.6%	-						
精検受診率	鳴沢村	70.0%	100.0%	92.3%	/	肺：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	85.7%	81.2%	78.3%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	86.5%	86.9%	-						
未受診率	鳴沢村	30.0%	0.0%	7.7%	/	肺：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	10.5%	11.2%	10.0%				低値	-	-
	全国	6.5%	6.5%	-						
未把握率	鳴沢村	0.0%	0.0%	0.0%	/	肺：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	3.8%	7.6%	11.7%				低値	-	-
	全国	7.0%	6.7%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.00%	0.00%	-	/	肺：0.03%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.04%	0.02%	0.03%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.04%	0.04%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	0.0%	0.0%	-	/	肺：1.3%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	2.4%	1.2%	1.8%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.7%	2.7%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（乳がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	6.9%	16.9%	15.6%	12.6%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	25.5%	25.2%	24.8%	23.6%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	17.4%	17.2%	17.0%	-					
要精検率	鳴沢村	0.0%	0.0%	0.0%	/	乳 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	4.6%	3.8%	3.7%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	7.5%	7.4%	-						
精検受診率	鳴沢村	-	-	-	/	乳 : 80%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	83.5%	79.8%	85.1%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	86.9%	87.9%	-						
未受診率	鳴沢村	-	-	-	/	乳 : 10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	6.9%	8.3%	7.6%				低値	-	-
	全 国	3.2%	2.9%	-						
未把握率	鳴沢村	-	-	-	/	乳 : 10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	9.6%	12.0%	7.3%				低値	-	-
	全 国	10.0%	9.2%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.00%	0.00%	-	/	乳 : 0.23%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.16%	0.25%	0.25%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.33%	0.35%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	-	-	-	/	乳 : 2.5%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	3.6%	6.6%	6.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	4.3%	4.7%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（乳がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	6.9%	16.9%	15.6%	12.6%	-	全国は 50%以上 山梨県は 60%以上	高値	-	-
	山梨県	25.5%	25.2%	24.8%	23.6%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	17.4%	17.2%	17.0%	-					
要精検率	鳴沢村	3.2%	0.0%	2.7%	/	乳 : 11.0%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	3.9%	3.6%	3.3%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	4.9%	5.0%	-						
精検受診率	鳴沢村	100.0%	-	100.0%	/	乳 : 80%以上	全て 90%以上	高値	-	-
	山梨県	85.2%	89.7%	86.5%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	92.1%	91.3%	-						
未受診率	鳴沢村	0.0%	-	0.0%	/	乳 : 10%以下	全て 5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	10.9%	6.8%	6.7%				低値	-	-
	全 国	2.8%	2.9%	-						
未把握率	鳴沢村	0.0%	-	0.0%	/	乳 : 10%以下	全て 5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	3.9%	3.6%	6.7%				低値	-	-
	全 国	5.2%	5.7%	-						
がん発見率	鳴沢村	1.08%	0.00%	-	/	乳 : 0.23%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.18%	0.21%	0.17%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.27%	0.28%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	33.3%	-	-	/	乳 : 2.5%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	4.7%	5.7%	5.1%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	5.5%	5.6%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（子宮頸がん検診 個別）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	23.7%	13.1%	13.4%	11.5%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	19.9%	19.7%	19.3%	18.8%		低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上	
	全国	16.3%	16.0%	15.7%	-					
要精検率	鳴沢村	0.0%	0.0%	13.0%	/	子宮：1.4%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.4%	1.6%	1.5%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	2.4%	2.4%	-						
精検受診率	鳴沢村	-	-	50.0%	/	子宮：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	63.4%	68.7%	61.1%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全国	73.3%	73.6%	-						
未受診率	鳴沢村	-	-	0.0%	/	子宮：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	9.2%	11.6%	9.3%				低値	-	-
	全国	7.0%	6.8%	-						
未把握率	鳴沢村	-	-	50.0%	/	子宮：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	27.4%	19.8%	29.6%				低値	-	-
	全国	19.7%	19.5%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.00%	0.00%	2.17%	/	子宮：0.05%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.02%	0.02%	0.01%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	0.04%	0.03%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	-	-	16.7%	/	子宮：4.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	1.2%	1.1%	0.9%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全国	1.5%	1.3%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳

鳴沢村におけるプロセス指標の年次推移と対策の検討（子宮頸がん検診 集団）

		実施年度				数値目標		値が適正でない場合の検討事項		
		H29	H30	R01	R02	許容値	目標値	予想される原因		検討すべき対策
受診率	鳴沢村	23.7%	13.1%	13.4%	11.5%	-	全国は50%以上 山梨県は60%以上	高値	-	-
	山梨県	19.9%	19.7%	19.3%	18.8%			低値	①対象者未把握 ②受診勧奨の未実施 ③検診の提供体制の未整備	①検診台帳の整備 ②受診勧奨、再勧奨の実施、重要性の周知 ③検診受診者の利便性向上
	全 国	16.3%	16.0%	15.7%	-					
要精検率	鳴沢村	8.0%	0.0%	0.0%	/	子宮：1.4%以下	-	高値	①受診者の偏り（有病率高） ②偽陽性過多	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	山梨県	1.3%	0.8%	1.1%				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.3%	1.4%	-						
精検受診率	鳴沢村	0.0%	-	-	/	子宮：70%以上	全て90%以上	高値	-	-
	山梨県	71.1%	38.9%	67.6%				低値	①未受診率が高値 ②未把握率が高値	未受診、未把握率を参照
	全 国	84.2%	81.1%	-						
未受診率	鳴沢村	0.0%	-	-	/	子宮：20%以下	全て5%以下	高値	①精検受診勧奨が不適切 ②精検の提供体制の未整備	①精検の重要性の周知 ②精検受診者の利便性向上
	山梨県	6.7%	27.8%	16.2%				低値	-	-
	全 国	5.2%	5.3%	-						
未把握率	鳴沢村	100.0%	-	-	/	子宮：10%以下	全て5%以下	高値	①精検受診の有無の未把握 ②精検結果の未把握 (結果未把握の場合は受診にカウントされない)	①精検受診の有無を把握する体制整備 ②精検結果を把握する体制の整備
	山梨県	22.2%	33.3%	16.2%				低値	-	-
	全 国	10.6%	13.6%	-						
がん発見率	鳴沢村	0.00%	0.00%	-	/	子宮：0.05%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.00%	0.05%	-				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陰性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	0.02%	0.02%	-						
陽性反応適中度	鳴沢村	0.0%	-	-	/	子宮：4.0%以上	-	高値	①受診者の偏り（有病率高）	①有症状者への診療指導 受診年齢層の確認
	山梨県	0.0%	5.6%	-				低値	①受診者の偏り（有病率低） ②偽陽性過多	①受診年齢層の確認 ②検診機関の精度向上
	全 国	1.6%	1.5%	-						

注 許容値を超える場合は赤字

受診率については、個別と集団を合計した値。また、胃がんについては、X線と内視鏡を合計した値。

受診率について、R01までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R02以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率の対象年齢は次のとおり 胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮：20～69歳

受診率以外の各プロセス指標について、H30までは、国の公表する地域保健・健康増進事業報告から算出。R01以降については、県が調査するがん発見・健康増進事業報告を基に算出しているため、確定値ではない。

受診率以外の各プロセス指標の対象年齢は次のとおり 胃：50～74歳、大腸・肺・乳：40～74歳、子宮：20～74歳